

第18回 高齢者支援研修会

◆ 共通テーマ ◆

「私の高齢者臨床のホントのところ ～これまでどうしてきた？これからどうする？」

◆ サブテーマ ◆

11月13日(金) : 第1回 心理アセスメント

11月18日(水) : 第2回 多職種連携と支援

11月26日(木) : 第3回 「やってみよっか」と思い立たせる高齢者臨床研究

12月01日(火) : 第4回 「わたしの高齢者臨床 《これまで》と《これから》」

◆ 企画主旨 ◆

高齢者臨床分野の心理職がどのような経験をしてきたか、その実際について計4回の連続研修をライブ配信で実施する。具体的には各回のテーマに沿って業務内容や知識や技術の習得の仕方、仲間づくりなどについて講義をする。

実際のところ、高齢者臨床分野の心理職はどのような業務をしているのか。そのために、これまでどのように知識や技術を習得してきたのか。また、どのように仲間を得てきたのか。そのような心理職の経験について知る機会はありませんでしょうか。

本研修会では、教科書には載っていない、通常研修では話されない「ホントのところ」について講義を行います。「ホントのところ」を知ると「実際はそうやってるんだ」とか「それ、今度試してみよう」という臨床に直接役立ち、現場をサバイブする知恵が得られると思っています。

平日の1時間とちょっとのご自宅での研修体験。全国の皆さま、どうぞお気軽にご体験ください。

主催

一般社団法人 日本臨床心理士会
高齢者福祉委員会

◆ 開催内容

	11月13日（金） 19:30～20:50（80分）	11月18日（水） 19:30～20:50（80分）
テーマ	心理アセスメント	多職種連携と支援
講師	沼田 悠梨子（高齢者支援委員会・委員）	扇澤 史子（高齢者支援委員会・協力委員）
所属	筑波大学附属病院認知症疾患医療センター 東邦大学医療センター	東京都健康長寿医療センター精神科
講師	田所 正典	桑田 直弥（高齢者支援委員会・委員）
所属	聖マリアンナ医科大学	東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科
内容	<p>高齢者領域における心理アセスメントとして、</p> <p>①これまでどのように認知機能について学んできたのか、</p> <p>②どのような検査所見のフォーマットを使用して、どのような所見を書いているのか、</p> <p>③どのようにフィードバックをするのか、</p> <p>④どのように学びを深めたのか（個人SV、事例検討会）</p> <p>といった内容について講師2人の経験を交えた内容をお伝えしていく。</p>	<p>高齢者臨床分野において、医師や看護師などの多職種との連携は必須である。</p> <p>そこで、急性期病院の精神科やリハビリテーション科、介護施設の3領域において、実際の連携と支援について講義を行う。</p> <p>現場の協働に生きるキーポイントを取り上げて、具体的に分かりやすく解説する。</p>
司会者	沼田 悠梨子／田所 正典	桑田 直弥／扇澤 史子

◆ 開催内容

	11月26日（木） 19:30～20:50（80分）	12月01日（火） 19:30～20:50（80分）
テーマ	「やってみよっか」と思い立たせる高齢者臨床研究	「わたしの高齢者臨床 《これまで》と《これから》」
講師	藤田 雄（高齢者支援委員会・委員）	小野寺 敦志（高齢者支援委員会・副委員長）
所属	藍野病院	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 臨床心理学専攻
講師	大庭 輝（高齢者支援委員会・協力委員）	若松 直樹（高齢者支援委員会・委員）
所属	大阪大学大学院人間科学研究科	東京福祉大学 心理学部心理学科
内容	<p>あなたの臨床のモヤモヤ、研究で解決してみませんか？本研修では、研究に関心があるけど踏み出せない方、経験はあるけど苦手意識のあるような人が対象です。</p> <p>基礎知識が乏しくても納得できる研究に仕上げるコツや、効率化のためのツールの紹介などを予定しています。</p>	<p>今から20年ほど前、高齢期への心理学的支援は必ずしも一般的な心理臨床ではありませんでした。</p> <p>けれども、これから約20年間、我が国は65歳人口が最大となる時代を迎えます。</p> <p>心理臨床では認知症の人々への支援をはじめ、生涯発達の視点からその役割が期待されます。</p> <p>この研修会では認知症の人々への支援をめぐり、講師の臨床の歩みを俯瞰しながら今後の方向性を模索します。</p>
司会者	大庭 輝／藤田 雄	小野寺 敦志 ／若松 直樹

両日のオンライン研修・受講していただき、受講合計時間が5時間以上となった方は資格更新ポイントの付与対象者となります。

◆ オンライン研修会（Zoom）申込時の注意事項（1）

- ・当研修会は、Zoomというツールを使用します。Zoomミーティングを経験されている方を対象にしています。Zoomの使用方法やカメラ・マイクの操作を理解していることが必要です。なお、当会では、Zoomや機材に関するお問合せには対応いたしかねます。
- ・パソコンもしくはタブレットでの参加をお願いします。スマートフォンでの参加も可能ですが、資料を画面共有した際に文字が見えにくい場合等があり推奨しません。
- ・有線または無線ブロードバンド回線、カメラ・マイク（内蔵もしくは外付け）が必須となります。
- ・当研修会は、資格更新ポイントの付与を前提としていることから、カメラは常に「オン」の状態を受講いただきます。また、マイクは通常「ミュート」とし、必要に応じて「ミュート」を解除していただきます。
- ・参加者のパソコン等の性能（CPU等）やインターネット接続回線（Wi-Fi電波が弱いなど）によっては、正常に受講いただけない場合があります。必ず、事前にご確認ください。参加者の機器やインターネット接続、環境を原因とするトラブルなどが発生した場合には、オンライン研修会・開催中の対応はできません。

◆ オンライン研修会（Zoom）申込時の注意事項（2）

- ・初めて Zoom を利用する方は、Zoom アプリケーションをインストールしてください。
https://zoom.us/download#client_4meeting
- ・Zoomのシステム要件は、[こちら](#)を参照ください。
- ・参加するだけならば、Zoomアカウントの登録は不要です。
- ・研修会当日に、Zoomのシステムや当会に起因するトラブルが原因で中断・中止した場合、時間の延長・別日程での開催のいずれかの対応を行います。
なお、当会はそれによって生じる損失の責任を負うことはできません。
- ・受講者1名につき1端末で参加してください。複数端末で受講されていることが確認された場合、強制退出していただくことがあります。
- ・1名分の申込みでの複数名の聴講は禁止します。
- ・参加者による録音・録画は如何なる場合も禁止します。

◆ 申込から参加までの流れ

- ・ 申込が完了した時点で、申込時に入力されたメールアドレスあてに研修会お申込み自動返信メールが届きます。自動返信メールには、付番された研修会・講座番号、受付番号や申込時の入力内容が記載されるとともに、参加費のお支払い方法等をお知らせしています。
なお、研修会・講座番号と受付番号は、下記のとおりZoomの事前登録手続きの際に必要となりますので、事前登録が完了するまでメールを保管してください。
- ・ お申込みから1週間以内に参加費を指定の口座にお振込みください。
- ・ 参加費のお振込みが当会に通知されるまでには、最短で2営業日を要します。
- ・ 参加費の振込みが確認された後、「Zoom事前登録のお願い」のメールをお送りします。
オンライン研修会参加のためのZoom事前登録を行っていただく必要がありますので、メールに記載されている期日までに事前登録の手続きをお願いします。
なお、事前登録の際に、自動返信メールでお知らせした研修会・講座番号と受付番号を入力していただきます。
- ・ 事前登録を行っていただくと、数日以内に「招待メール」が届きます。
この「招待メール」に記載の手順により当日オンライン研修会に参加していただくこととなりますので、研修会が終了するまでメールを保管してください。
- ・ 研修会開催日の1営業日前を目処に「招待メール」を再送信いたします。
先の「招待メール」を紛失した場合は、こちらを使用して当日ご参加ください。